

Excel2003データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能：

指標値型データの抜き出しプログラムは、Excelシート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出します。抜き出しはRID項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能です。

本プログラムはExcel-VBAで作成しています（Microsoft社のExcelが必要（WindowsXP Excel2003で動作確認を行っております。））。

手順概要：

Excelを起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。プログラム名は基本単位区別の場合は「SELH22KK1T(Excel97-2003).xls」です。プログラム起動後の処理は、次の2つのステップに分かれます。

- 1．Excelシートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。
抜き出したい項目に*を入れる。
- 2．抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード数を指示し、実行する。

補足：

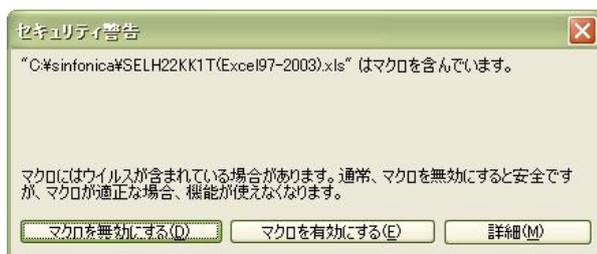
基本単位区別集計は集計値のほかに次の情報が付加されています。この情報はRID項目に記録されています。

- (1) 町丁字等名称
漢字の町丁字等名称を記録している。
- (2) 中心点座標
基本単位区別集計の場合にのみ、緯度と経度の情報を記録している。

操作手順:

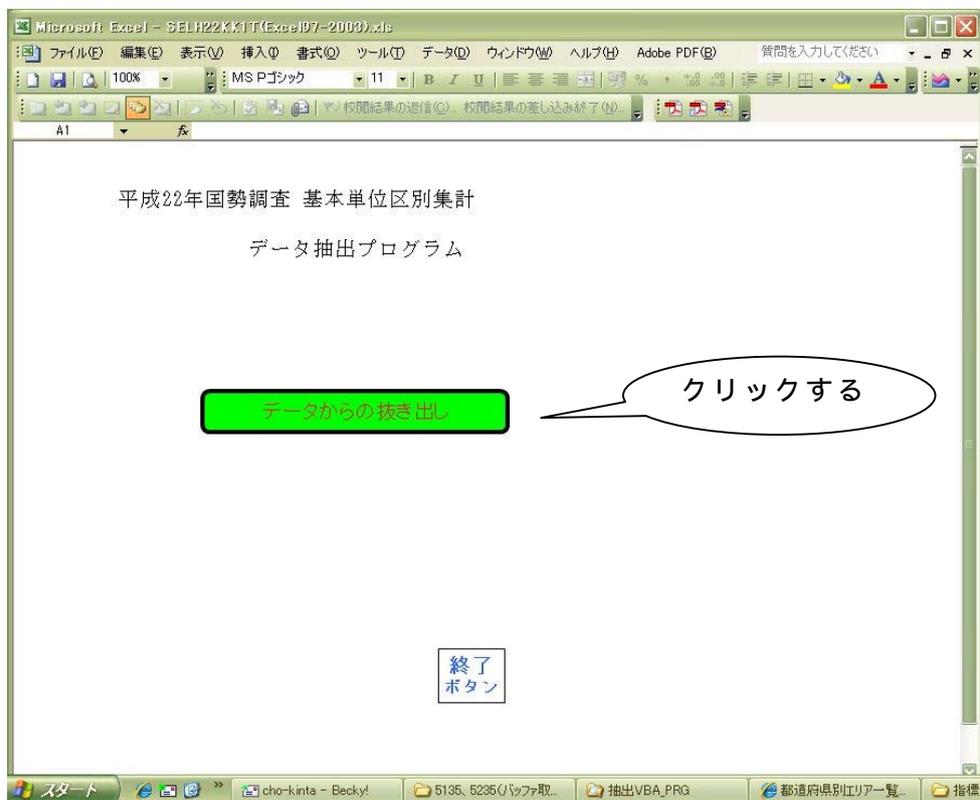
1. 抽出プログラムを起動する。

「SELH22KK1T(Excel97-2003).xls」をExcelに読み込み、次の画面が表示されたら「マクロを有効にする(E)」をクリックする。



この画面が表示されない場合はExcelの「ツール」、「マクロ」、「セキュリティ」でセキュリティレベルを「中」にしてください。

2. 最初の画面で「データからの抜き出し」をクリックする。
クリックすると集計別の項目選択Excelシートが表示される。



3. Excelシート上に必要事項を記入（キーイン）する。

(1) RIDの選択

ファイルアイデントから日本測地系経度までの項目のうち、抜き出したい項目には、第1列目（A列）に*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。また、第3列目（C列）以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は第4列目（D列）、第5列目（E列）と順次記述する。

(2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目（A列）に*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。

Microsoft Excel - SELH22KK1T(Excel97-2003).xls

抽出条件はこちら

必要な項目には*を

11	*	"ファイルアイデント"			
12	*	"都道府県コード"			
13	*	"市区町村コード"			
14	*	"基本単位番号"			
15	*	"調査区番号"			
16	*	"地域識別番号"			
17	*	"都道府県名"			
18	*	"市区町村名"			
19	*	"大字・町名"			
20	*	"町・丁目名"			
21	*	"人口集中地区番号"			
22	*	"世界測地系経度"			
23	*	"世界測地系緯度"			
24	*	"日本測地系経度"			
25	*	"日本測地系緯度"			

以下はデータ項目

34	*	セル1/総数(人)			
35		セル2/男(人)			
36		セル3/女(人)			
37		セル4/世帯数(世帯)			

項目の入っていない箇所へ*を入れるとERRORが出るので注意

抜き出し開始ボタン

もど

抜き出し対象を絞る場合は、例に従ってコードを書く。複数ある場合は、右に向かって記述していく。

必要な項目に*を入れる。*は全角でも半角でもOK。

指示が終わったらここをクリックする。抜き出し画面が表示される。

4. 指標値型CSVファイル等の必要事項を指定する。

The image shows two screenshots from a software application. The top screenshot is the 'Indicator Value Data Extraction V3' dialog box. It has a title bar with a close button. The main area contains several fields and buttons. The 'Source File' field has a text box with 'データファイルを選んで下さい' and a '参照' (Reference) button. The 'Destination File' field has a text box and another '参照' button. The 'Maximum number of records to extract (including header rows)' field has a dropdown menu set to '全て' (All) and a note: '数字以外を入れると対象となったもの全てとします。' (If you enter anything other than numbers, all items that match will be included). On the right, there is a '抽出先ファイルの種類' (Destination file type) section with radio buttons for 'CSV', 'Excel' (selected), and 'QBF IV'. At the bottom are 'もどる' (Back) and '実行' (Execute) buttons. A callout bubble points to the '抽出先ファイルの種類' section, stating: '抜き出し結果のタイプを選ぶ。' (Select the type of the extraction result). Another callout bubble points to the '参照' buttons, stating: '参照をクリックすると「ファイルを開く」のウィンドウが表示される。' (Clicking the reference button displays the 'Open File' window). A third callout bubble points to the '全て' dropdown, stating: '抽出最大数を指定する。全ての場合は、「全て」と指定する。' (Specify the maximum number of items to extract. In the case of all, specify 'all'). A fourth callout bubble points to the '抽出元データと抽出先データ名を指定すると表示される。' (When you specify the source data and destination data names, they are displayed).

The bottom screenshot is the 'Open File' dialog box. It shows a file explorer view of the folder 'H22KK1T47'. The file 'H22KK1S47.dat' is selected. The 'File name' field is empty, and the 'File type' is set to '集計データ (*.dat)'. Callout bubbles provide instructions: '1. 抽出先データを選ぶ。名前は基本単位区別集計の場合は、H22KK1Tkk.datである。kkは県番号。ダブルクリックで選ぶ。' (1. Select the destination data. The name is H22KK1Tkk.dat in the case of basic unit distinction. kk is the prefecture number. Select with double-click.) and '2. 抜き出し先のデータを選ぶ。新規の場合は、ファイル名をキーインして開くをクリックする。' (2. Select the data to be extracted. In the case of new, enter the file name and click '開く' (Open)).

「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。
抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

利用上の留意点

- (1) 秘匿について：
基本単位区別集計の場合は秘匿はありません。
- (2) 集計データについて
該当数値のない場合は「-」としています。
- (3) 抽出データについて
抽出先ファイルの種類にEXCELまたはDBFを選択した場合、最大保存レコード数は65536行(EXCEL97-2003およびDBFの最大表示行数)となる。
65536行以上のデータ抽出する場合は抜き出し先ファイルの種類は「CSV」を選択すること。